やさしく色づいた街
かすかなメロディ　行き場のない想い
もがきながら歩いてる　迷ってる

大空に願いをかけよう
やわらかな笑顔　せいいっぱいの言葉
つながった輪に大切に　キラリ輝く

爽やかな風が吹いている

いつのまにか芽吹く
とまり木はいつもそこに
飛び立つ鳥たちに
エールとなって届きますように

ひばりが丘の街に和を描く
コミュニティメディア

A'ERU アエル

MACHINI-WA HIBARIGAOKA		vol. 23
2023	Spring	

HIBARI Voice

AERU00号に「ひばりが丘団地再生事業区域が、温かなつながりのある街として続いてゆくためのお手伝いをする『一般社団法人まちにわ ひばりが丘』」その事務局長として登場していたのが荒昌史さんです。今、マンションが並んでいるあたりが更地だった頃から見守り続けて10年。今回は、近くの住人となった荒さんに地域との関わりについて寄稿していただきました。

こんにちは、荒と申します。2017年からまちにわひばりが丘の事務局業務を担っていたHITOTOWAの代表をしています。

まちにわのあるこの地域は、団地、学園町、南沢、私からすると徒歩圏にこんなに稀少な場所や自然、そして人々が集積している素晴らしいまちはありません。
そんな魅力に惹かれ、私事ですが21年秋、ひばりが丘団地に程近い学園町に転居してきました。

「まちにわ ひばりが丘」の企画のため初めて訪れたのが13年の初夏。ちょうど10年が経ったいま、日常的に「ひばりテラス118」をお借りしたり、野菜やお花、お菓子、雑貨、ゴミ袋をも！買いにきたり、四季を愛でながら散歩をしたり、ここで暮らす喜びを感じています。

学園町も、自由学園が100年前につくった非常に珍しい住宅地です。緑や庭の多い町並みを継承し、改めて創造していくような、そんな取り組みを住民、自治会員、HITOTOWAとして行動しています。

そして昨年、書籍『ネイバーフッドデザイン』を出版しました。増刷もされ、たくさんの方々に手に取っていただき、とても光栄です。実は「はじめに」に書いたまちの情景、皆さんが暮らしているこの地域をイメージしています。

まちに在るあらゆるものごとは誰かの所作によって成り立っています。このまちのいいところを継承し、創造する、そういう住民であり、事業家でありたいです。

荒 昌史（あら まさふみ）
HITOTOWA INC. 代表取締役
学園町自治会 運営委員
自由学園 最高学部 非常勤講師

大学卒業後、住宅デベロッパー入社。2010年12月に創業。ネイバーフッドデザイン事業を通じて、まちや集合住宅の人々のつながりをつくり、都市の社会環境問題の解決に取り組む。

ひばりが丘団地の建て替えに伴うエリアマネジメント「まちにわ ひばりが丘」の企画がきっかけで東久留米市学園町在住。当該エリアはじめHITOTOWAが深く関わるまちの継承と創造のためにマイクロデベロップメントの事業化にチャレンジ。

趣味は愛猫との昼寝と埼玉西武ライオンズの応援。

INFORMATION

Books　～本でつながるひと・もの・こと～

ひばりテラス118では、受付にてまちにわひばりが丘にゆかりのある書籍を販売しています。

ネイバーフッドデザイン

英治出版
荒昌史（著）
HITOTOWA INC.（編集）

**HIBARI Voiceで紹介した、荒さん初の書籍。
ひばりが丘団地での取り組みについてたくさん記されています。**

「ゆるやかなつながり」がまちの未来を変えていく
近くに暮らす人たちの関係性を育むことで、まちの課題を解決する。都市部におけるコミュニティ開発の新たな思想とメソッドを、実践例を交えて紹介。まちづくりや都市開発、エリアマネジメント、団地再生に携わる人はもちろん、自治会や商店会、マンション管理組合の関係者、そして自分の住むまちを良くしたいすべての人のための一冊。22年度 不動産協会賞を受賞。

夜、寝る前に読みたい宇宙の話

草思社
野田祥代(著)

ひばりが丘在住の野田さん（あいプラネット代表）は、「うちゅう・かがくあそび」などのプロジェクトを手掛けています。「つたえよう 宇宙のふしぎ 星のふしぎ 命のふしぎ」を合言葉に親子向け、大人向けのイベントを各地へ届けています。

宇宙のことを考えて、どきどきわくわくしたり、夜眠れなくなったことはありませんか？本書はそんな皆さんに寄り添いながら、不思議でもあり癒しでもある宇宙をやさしく綴ったエッセイです。
永い宇宙の時間のなかで、ほんの一瞬のまたたきとして生きる私たち。心の宇宙旅行をして、時には大きなところから自分や人間、地球を見てみませんか。

MACHINI-WA HIBARIGAOKA

発行元：一般社団法人まちにわ ひばりが丘
デザイン：佐藤洋平
写真：平田武（表紙／まちにわ師）
鈴木暁子（P2、P3／AERUライター）
問合せ：info@machiniwa-hibari.org
WEB：https://machiniwa-hibari.org/
発行日：2023年4月15日

メールマガジン無料配信中！
ご登録はこちらから

「まちにわ ひばりが丘」の情報や、イベント情報などをお送りしています。左のQRコードから登録、または、件名を「メールマガジン登録希望」として info@machiniwa-hibari.org までご連絡ください。

お問い合わせは
以下ご連絡先まで
Tel：042-452-5758
Mail：info@machiniwa-hibari.org

ひばりが丘周辺の歴史を探る

ÁERU HISTORY

アーケードの変化と共に進化していくピピ通り商店街

ピピ通り商店街のシンボルとして長年活躍したアーケード。2022年12月にその役目を終えて解体しました。軒先のなくなった店先は明るい雰囲気に変化をしています。商店街の発展期に構えたアーケードの歴史をふり返りながら、ピピ通り商店街のこれからについて商店街協同組合の3人にお話を聞きました。

ピピ通り商店街
ひばりが丘団地北商店街協同組合

安立 隆一 さん（写真中）
矢野 和美 さん（写真左）
星 洋子 さん（写真右）

明るくなったピピ通り商店街

―アーケードが撤去されて雰囲気がずいぶん変わりましたね！

星さん（以下敬称略） 皆さんから「明るくなった」というお声をいただきます。正直私たちは壁面の汚れなどが強調されてしまい、あまり良い印象を与えないかもしれないと心配していたので。予想以上に好意的な声を寄せてくださるのが嬉しかったです。

アーケード撤去前のピピ通り商店街。アーケードと黄色の日除けシェードが目立っていた。

矢野さん（以下敬称略） 若い方にはどうやら、「レトロな雰囲気がいい！」と捉えてくださっているみたい。ちょっと意外ですよね。

安立さん（以下敬称略） うちが経営している塾にはおじいちゃんおばあちゃんが孫の送り迎えでよく来るんだけど、皆「雰囲気が変わったね」と話します。

―商店街の“シンボル”を撤去するのは心苦しかったのでは？

星 そうですね、悩ましくもありました。しかしアーケードの設置から、既に40年以上経過しています。維持管理にも費用がかかり、新たに再建築するにも多くの費用を要するのです。そこが悩ましくもあり今回撤去するという決断に至りました。

商店街の発展とともに、アーケードを設置

―ひばりが丘団地エリアの、商店街の歴史について改めて振り返ってみると。

安立 1959年にひばりが丘団地は誕生しました。戸数が2714戸もあり、当時は首都圏初の大規模団地と言われていたんです。団地の誕生に合わせて、次第に商店街も発展をしていきます。

星 実は当時、隣接する中原銀座商店街とピピ通り商店街は、1つの商店街だったのです。その後、2つに分かれて現在のような姿になりました。さらに時を経た1977年にピピ通りにアーケードを設置したのです。

―アーケード設置は、当時画期的だったのでは？とてもインパクトがあります。

星 そうですね。商店街のシンボルになっていたし、他の商店街と視覚的に差別化を図りたかったのかなと思います。しかしアーケードを建設するために、資金面ではとても苦労したようです。資金捻出するために補助金制度を利用するほか、建設費の融資を受けていました。融資のために商店街では協同組合を設立し、1年以上かけて運営体制を整え、融資に臨んだと聞いています。

―資金面・運営面と甚大なるご苦労をされてきたのですね。

星 この商店街を皆で良いものにしようと懸命に活動をしていたのだと思います。今日ここまで維持するのに、プレッシャーはありましたが、長年続いてきた組合や周囲の方々との関係を踏襲してきました。

アーケード設置後、多くの人が行き交っている商店街の様子。

アーケード設置前の商店街の様子。

歴史と共に顔ぶれは変化

―商店のみなさんは、現在どんな年代・業種の方がいらっしゃるのでしょうか？

星 お店の顔ぶれは、食料品・理美容店・飲食店・学習塾など様々です。ピピ通り商店街ができてからずっと店を続けている人も複数名いらっしゃいます。もう70代後半でしょうか。元気に店を続けていますね。

矢野 まだまだミドルシニア層が元気に営んでいます。平均50代という感じでしょうか？

安立 50代なんてまだ若いよね。とはいえ、最近さらに若い世代の方が増えていています。

星 近郊に新たに引っ越してきた人、団地内にあるシェアショップ「HIBARI DO」を利用してチャレンジ営業をした後、自分の店を持ちたいとピピ通りに出店してくれた人もいますよ。

―団地の世代変化と共に、商店の皆さんも変化をしているのですね。

安立 すでに60年以上の歴史のある団地を持つまちなので、住民の顔ぶれも大きく変化をしています。3世代くらい変化をしているんじゃないかな。もちろん顧客層にも変化がありますね。でも、そこは個店によって顧客の変化具合は違います。

矢野 私の店は、衣料品店ですけれど、昔ながらのお付き合いの人の方がやや多いですね。

星 もちろん昔ながらの顧客を大切にしている店もあれば、新たな顧客との出会いを広げている店もあり、それぞれまちの方々とのおつきあいの方法を模索しています。

―毎月日曜日に開催していたサンデーマーケットも新たな出会いの場だった？

星 そうですね。新たな顧客との出会いとなれば、と実施をしていましたし、実際今まで商店街に訪れている方々とは異なる方たちと出会え、商店街のことを知ってもらえたのは良かったなと思っています。アーケードの撤去と共に、サンデーマーケットの開催は終了しますが、今後まちの方とつながれるイベントは何かやりたいな、と思っています。

新たな装いになり、さらなる発展に向けて

―今後商店街ではアーケードを再設置するのでしょうか？

星 その予定はありませんが、商店街はこれからも街にとって必要な場所でありたいと思っています。住んでる人の力を借りて、みんなでまちを盛りあげていけたら、さらに多くの世代の人たちと関係が深まりそうできそうですよね。お客様からは、「ここの商店街はお客さんがみんな温かい」と言ってくれるんです。この場を大切にしながら、これからも居心地がよい商店街を営んでいきたいですね。

ÁERU ライター

永見 薫
Nagami Kaoru

西東京市谷戸町在住。
会社員として働きながら、ライフワークとしてインタビューライターやワークショップやイベント運営に携わっています。まちにわ師5期生。住んでいる街をもっと楽しく面白く感じられるように、子供との暮らしをもっと密接に感じながら「職住接近」をテーマにこれからも活動を続けていこうと思っています。

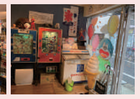
ちょっとだけ お出かけマップ 西武柳沢駅編

西武バス「北原住宅」のバス停から歩いて10分ほどで「柳盛会柳沢北口商店街」の入口に着きます。古くから続くお店がある一方、アイデアに富んだ新しいお店が目に付きます！さあ、行ってみよう！

新型コロナウィルスの影響について
新型コロナウィルスの影響により、掲載している情報に変更がある可能性があります。お店の営業状況などは、適切な手段にてご確認頂けますようお願い申し上げます。

1 ヤギサワベース

昭和の子どもにはおなじみの「駄菓子屋さん」。店内には懐かしい駄菓子やレトロなゲーム機が置かれ、奥にはフリースペースもあります。あっという間に子ども時代へとタイムスリップしそうです。学校帰りの子どもたちが安心して過ごせる場所でもあるヤギサワベース。店内に飾られたおもちゃやビンテージがたまらない備品を見るのも楽しいですよ。



西東京市保谷町3丁目25-15 サンハイツ柳沢 1F
042-452-5905
水～土／14:00～18:00、日／12:00～16:00
月・火曜日、祝日は不定休

2 siesta coffee spot

ちょっと一息つきたい時に気楽に立ち寄れる無人のカフェです。ドリンクメニューが豊富で、コーヒーが苦手な方でも楽しめます。お菓子をつけてもワンコイン。ドリンクを購入すれば持ち込みも可能。白を基調としたおしゃれな空間。大きな窓の目の前を電車が通るのも楽しい。レンタルスペースとしても予約できます。

西東京市保谷町3-26-17 ミノリビル101号室
042-452-7082
24時間営業
なし

3 pirka

スイーツメインのカフェ、というだけあって、ワッフル、クレープ、シフォンケーキ、どれも美味しそうです。中身まで可愛いクッキー缶も大好評。固め、柔らかめとお好みで選べるプリンには大満足でした。明るい店内で、オーガニックコーヒーと共に味わうのもおすすめです。目印は可愛いイラストの描かれたガラスのとびら！

西東京市保谷町3-24-25 1F
042-452-9437
11：00～18：00
日・月曜日

4 日用品茶屋 たいやぎ

入口にある真っ白な暖簾にたいやきが目印。表面はサクで中はふわモチの生地に、たっぷりのあんこやカスタードがたまりません。そのほかチョコバナナやカレーなどを提供していますが、今日のお勧めはぜひInstagramをチェック。店内には暮らしをセンスよく、そして心地よくさせてくれる和のテイストの日用品も販売されています。

西東京市保谷町3丁目24-1
予約・問合せは店頭のみ
13：00～18：00（たい焼きは完売しだい終了）
水・日曜日

5 鶏拉麺JIN

お店のおすすめは１つ１つの素材に拘った「鶏白湯 塩拉麺」。鶏の旨みが詰まったコクのあるスープに中細ストレート麺がよく合い、奥深い一杯となっています。真空低温調理されたチャーシューは、とても柔らかくて食べ応えも抜群。お店はポップな印象で清潔感があり、男女問わず入りやすい雰囲気です。

西東京市保谷町3−11−24
042-460-6320
11:30～15:00、17:00～22:30（LO.）
水曜日

6 手創りかばん工房クラクフ

ちょっと気になる鞄が店頭に並んでいる。色々な工具が並び、革の匂いのする店の奥で仕事をする店主の橋本さん。「お客さんとの『顔の見える関係』を大事にしている」と話した。オーダーで求めた鞄を長く愛用している、というお客さんの声も多い。カードケースや小銭入れ、栞、などの小物もイベントでは大人気だそうだ。

西東京市保谷町3-10-16
042-461-0752
10:00～20:00
日曜日